

JOYO BANK NEWS LETTER

2025年11月20日

「地域に咲く協創ストーリー」の事例追加公開について ～創立90周年を機に法人のお客さまに対する各種支援事例をWebにて公開～

常陽銀行（頭取 秋野 哲也）は、現在公開中の法人のお客さまとともに取り組んだ課題解決のための各種支援事例を紹介する「地域に咲く協創ストーリー※」（<https://www.joyobank.co.jp/enterpri/co-creation/>）について、このたび新たな事例を追加公開しました。



当行は、質の高い総合金融サービスの提供を通じ、地域とともに、豊かな未来を創り続けることを目指す金融機関として、お客さまとの「協創」に取り組んでいます。

本取り組みは、お客さまの事業課題を解決することが、ひいては地域社会全体の課題解決につながるとの思いのもと、これまでにお客さまと紡いできたたくさんの「協創ストーリー」を公開することで、他のお客さまの経営課題や社会課題の解決の一助となることを目的としています。初回公開以降、本コンテンツを通じてお客さまから事業承継やDXへの取り組みなどに関する具体的な課題解決へのご相談・お問い合わせをいただいております。

「協創ストーリー」については、これからも順次公開してまいります。

地域に芽吹いたたくさんのストーリーが、やがて各地一面に咲き誇るように、今は小さな一つひとつの想いや取り組みでも、必ず地域にとって大きな活力となります。

当行およびめぶきフィナンシャルグループは、「地域とともにあゆむ価値創造グループ」を長期ビジョンの目指す姿として掲げ、今後ともステークホルダーの皆さまの課題に寄り添い、ともに歩み、解決することで、新たな価値を創造し、地域社会の持続的成長に貢献してまいります。

※各協創ストーリーの詳細は別紙をご参照ください。

以上

■ストーリー掲載企業紹介

企 業 名	株式会社 セイワ食品
ストーリー タイトル	国内市場の変化を、世界進出のチャンスに ～成長と継承の両輪で地域企業の持続的な発展を支援～

【ストーリー概要】

1981年創業の株式会社セイワ食品様は、チョコレート加工品のOEM製造で安定した基盤を持ちつつ、国内市場の変化に対応するため、自社ブランド「Bromagee」を立ち上げ、海外への販路拡大にも取り組んでいます。特に中国への進出や、ベトナムでのカカオ農園取得および製造工場の建設など、グローバル展開を加速させています。

当行は同社の海外進出においてHACCP認証取得に向けた支援や輸出事業計画の策定、補助金採択後のファイナンス支援に加え、現地駐在員による細やかなコミュニケーションサポートを一貫して実施しました。また、同社の安定した経営基盤を後継者に引き継ぐため、経営権の継承に先立ち、所有権である自社株式の継承を提案。円滑な事業承継を支援しました。

今後も、成長と継承の両輪で、地域企業の持続的な発展を支援してまいります。



企 業 名	株式会社 あ印
ストーリー タイトル	「変化し続けること」が、地域企業の成長のカギ ～資本と経営を分けて考える事業承継支援～

【ストーリー概要】

明治20年創業、茨城県那珂湊地区で海産物販売から事業を開始した株式会社あ印様。たこを中心とした海産物加工業を営み、創業から130年以上にわたり地域とともに成長を続けています。

次世代への円滑な承継をめざし、新たな世代が社内体制の改革やデジタル化を推進するなど、変化への挑戦を続けています。特に業績好調に伴う株価上昇による相続負担を考慮し、株式の移譲と役職の移譲を分けて、「財産承継」を先行して進める決断が大きな転機となりました。当行では、社長の不安に寄り添いながら、現行の税制度下で最適なタイミングでの事業承継を支援させていただきました。

当行は今後も「相談できる」「駆け付ける」存在として、地域企業の未来を見据えた決断を丁寧に支援してまいります。



企 業 名	茨城いすゞ自動車 株式会社
ストーリー タイトル	2030 年戦略ビジョン実現を後押しする金融サービスの提供と本業の伴走支援
【ストーリー概要】	
<p>設立 75 年、茨城県を営業地盤にトラック・バスの販売・整備を展開する茨城いすゞ自動車株式会社様。グループ連結売上高 354 億円超を誇る、地域を代表する企業グループの中核企業です。</p> <p>「運ぶを支え地域社会を笑顔にする」という使命のもと、2030 年戦略ビジョン実現に向け、サービスセンターの新設・建て替えなど総投資額 44 億円規模の大型投資を実行しています。この挑戦に対し、当行は戦略エリアの事業計画策定から、補助金申請、ファイナンス設計、金利上昇リスクヘッジまで、銀行の枠を超えた伴走支援を実施。社員の健康経営推進や CSR 活動への取り組みも含め、企業の成長戦略全体を支援しました。</p> <p>当行は今後も、リスクマネジメントと成長シナリオの実現を両面から支援し、地域経済の旗振り役として、共にモビリティ社会を創造してまいります。</p>	



企 業 名	株式会社 浜勘
ストーリー タイトル	「蟹の浜勘」100 年企業の未来へ ～生産性向上に向けた業務プロセスの可視化と DX 化支援～
【ストーリー概要】	
<p>1919 年創業、大洗町でカニ加工を核とする老舗企業である株式会社浜勘様は、「蟹の浜勘」と称される高品質を守りつつ、冷凍寿司などの自社ブランド開発や北米輸出にも挑戦されています。</p> <p>労働集約型の生産現場を持つ同社にとって、労働力人口の減少に対応するため、生産性向上が喫緊の課題でした。当行は、この課題解決に向け、現場の作業や事務フローを分析し、業務プロセスの可視化と IT・DX 化に向けたコンサルティング支援を実施。社員の意識改革と業務効率化を促進する伴走パートナーとして、DX の推進を支援しました。</p> <p>当行は今後も、資金調達や海外進出支援に加え、地域経済を支えるコーディネーターとして、100 年企業の持続的成長を後押ししてまいります。</p>	

企 業 名	有限会社 ステンレスアート共栄
ストーリー	匠の技術と新工場で未来を拓く
タ イ ル	～持続的成長に向けた事業計画策定支援および工場進出支援～

【ストーリー概要】

埼玉県に本社を置く有限会社ステンレスアート共栄様は、食品機械、航空機内装など幅広い分野でステンレス加工を手掛け、匠の研磨・溶接技術とワンストップの提供体制を強みとしています。



都市部での工業用地不足などの課題解決と持続的成長を図るため、2026年7月に茨城県常陸太田市への新工場進出を決断。新工場敷地の一部をアーバンスポーツや市民の憩いの場として開放し、地域と共生する「開かれた工場」を目指します。当行は、茨城県との連携による用地紹介をはじめ、事業計画の策定支援、投資効果の検証、公的支援制度の活用など、新工場進出における財務・戦略面をトータルで支援しました。

当行は今後も、製造業の成長と地域活性化を両立する同社の挑戦に伴走してまいります。

企 業 名	トーヤク 株式会社
ストーリー	より良い明日を創る化学メーカーの挑戦
タ イ ル	～新工場と成長戦略支援～

【ストーリー概要】

1946年創業のトーヤク株式会社様は、家庭園芸用農薬や洗浄剤などを開発・製造する化学メーカーです。



近年、国内での安定供給と環境配慮へのニーズが高まる中、製造能力の強化とサプライチェーンの強靭化を目的として、茨城県中央工業団地に新工場建設を決定しました。新工場では、最先端技術の導入、既存工場では太陽光発電設備設置など、環境経営とデジタル化を推進しています。

当行は、この大型投資の実現に向け、中長期的な事業計画の策定、茨城県との連携による用地紹介に加え、シンジケートローンの組成をアレンジャーとして支援しました。

今後も同社の地域経済への貢献と環境配慮を両立させた成長戦略を、財務・戦略の両面から支援してまいります。

企 業 名	海老根建設 株式会社
ストーリー タ イ ト ル	地域No.1インフラドクターへの挑戦 ～海老根建設が目指す人的資本経営と働きやすい職場づくり～

【ストーリー概要】

大正5年創業の海老根建設株式会社様は、土木工事と法面工事を両輪として、久慈川緊急治水プロジェクトなどに携わるなど、「地域No.1インフラドクター」を目指しています。

人口減少が著しい大子町で、人材確保と定着が喫緊の課題となっています。同社は、男性中心の建設業界において女性が活躍できる環境整備や、月給制導入などの働き方改革を積極的に推進しています。



当行は、人的資本経営の実現を支援するため、従業員満足度調査（組織診断）を実施し、社員の誇りや課題を明らかにしました。この結果を基に、人事制度の再構築やポジティブ・インパクト・ファイナンス（PIF）の導入など、持続的成長に向けた戦略的な投資を支援しました。

当行は今後も、地域と社員に寄り添った経営を実践する同社の挑戦に、伴走してまいります。